

# 平成30年度事業報告

## 1 会館の財政運営について

(1) 熊本地震に対応した熊本県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業では、平成30年5月に補助金交付請求手続きを行い、補助金として23,783,000円を入金しました。その趣旨に応じた復興事業は、教育文化事業として教育・労働相談、会館復興寄席をこの2年間実施しました。また熊本県教育会館再建委員会をこの2年間で8回開催し、建物再建と今後の会館運営について協議し、グループ補助金の活用と中長期的な見通しを持った事業の見直しの方向性が出されました。それに応じて、今後の運営をすすめていきます。

(2) 会館建設基金(出資金)については、出資依頼を中止しており、新たな出資はありません。出資金は、退職等による返済が438人、4,602,000円で、この結果出資金の残額は73,781,000円となりました。 決算報告書 P1

0

(3) 地代家賃は、100%納入されています。

(4) 会議室利用は、昨年からの第4会議室利用再開もあり、好調です。 決算報告書 P11  
 ≪会議室・利用状況 平成26～30年度の推移≫

平成	出資者		一般		計		対前年	対26年	備考
	件数(件)	貸料(円)	件数(件)	貸料(円)	件数(件)	貸料(円)	貸料(%)	貸料(%)	
26年度	149	1,079,240	187	4,400,775	336	5,480,015	102	—	
27年度	154	1,111,080	165	4,492,412	319	5,603,492	102	102	空調工事
28年度	37	348,354	26	618,124	63	966,478	17	18	熊本地震
29年度	203	2,215,693	234	6,002,510	437	8,218,203	850	150	←第4会議室
30年度	213	2,582,982	292	6,814,346	505	9,397,328	114	171	

(5) 集束手数料は、保険掛金が安くなったこともあり保険共済事業は約2,580万円、事務受託事業は約140万円で、前年より約230万円減の約2,720万円です。また教育会館の特別給付金は、年間約1,260万円と給付がやや増加しました。 決算報告書 P1

4

≪特別給付金・給付状況 平成26～30年度の推移 (円)≫

平成	出産祝金	退職見舞金	入院見舞金	医療プラン	退職祝金	満期祝品	合計
26年度	1,386,000	950,000	4,118,000	3,977,000	1,170,000	125,000	11,726,000
27年度	1,648,000	400,000	4,396,000	4,028,000	1,410,000	225,000	12,107,000
28年度	1,504,000	750,000	3,756,000	3,820,000	1,520,000	235,000	11,585,000
29年度	1,496,000	900,000	3,470,000	3,746,000	1,500,000	275,000	11,387,000
30年度	1,541,000	1,400,000	3,914,000	3,626,000	1,790,000	360,000	12,631,000

(6) 各種引当関係は、基本財産減価償却に約770万円、退職給付に約400万円、記念事業準備に約150万円、建物修繕にグループ補助金を含めた約2,400万円、新たにシステム改修に50万円を引当て、また記念事業のため約80万円を取り崩しました。なお、事業譲渡にかかわる未収金は約1,700万円あります。

≪各種引当・状況 平成26～30年度の推移(万円 \*万円未満は切り捨て)≫

平成	基本財産 減価償却	退職 給与	特別給 付準備	記念事 業準備	出資金 返済	建物 修繕	システム 改修	機器	引当金 総計	繰越金	現預金 総計
26年度	13,080	647	4,802	239	3,200	3,900			25,871	562	26,434
27年度	13,846	609	3,600	439	3,200	1,400	200	50	23,344	1,624	24,968
28年度	4,812	762	3,600	639	3,200	600	200	50	13,864	2,633	16,498
29年度	5,578	979	3,600	839	3,200	700	0	0	14,897	2,851	17,748
30年度	6,344	1,384	3,600	912	3,200	3,078	50	0	18,569	1,888	20,457

(7) 会計処理は「区分経理」により「継続事業(公益目的事業)」の適正な執行が必要であり、ユース会計社との契約を継続し、適正な処理と円滑な執行に努めました。平成30年度の公益目的事業に関しては、復興支援事業や会館共済キャンペーンと連動させて実施しました。

## 2 管理業務について

(1) 夜間や休日の管理は3名と業務委託契約を結び、会館を常時使用できるようにしています。  
 なお5月より深夜時間帯は(株)にしけいと契約し、機械警備を導入しました。

(2) 安全管理及び設備・備品の保守については、保守契約を次のように行っています。

No	内 容	委 託 先	委 託 料
1	火災保険	新契約先を検討 * 共栄火災海上	保障 6 億 4,756 万 8 千円 年掛金 500,000 円
2	清掃管理	日本ビル管理(株)	年 3,061,800 円 月 248,400 円+ガラス 81,000 円×1
3	塵芥収集	(有)都環境開発サービスセンター	年 220,320 円 月 18,360 円
4	エレベーター保守	三菱電機ビルテクノサービス(株)	年 738,720 円 月 61,560 円×12
5	防犯カメラ保守	三菱電機ビルテクノサービス(株)	年 188,438 円 (149,558 円×1再リース 5台 +月 3,240 円×12 1台)
6	自動ドア保守	熊本ナブコ(株)	年 216,000 円
7	電話保守	NTT西日本	リース料 年 70,359 円 ×1 再リース +月 9,115 円 ×12 計 179,739 円
	電話保守(センター)	NTT西日本	リース料 年 65,148 円 ×1 再リース +月 2,257 円 ×12 計 92,232 円
8	電設保守	藤本義美	年 216,000 円 月 18,000 円×12
9	電気メーター交換	九州計装エンジニアリング	1年当 36,400 円 15年交換 546,000 円
10	消防設備保守	ユージー防災設備	年 155,520 円 半年 77,760 円、点検後実費負担有
11	空調設備	旭電業(株)	発生時払い
12	ロスナイ	空研工業	発生時払い
13	会計処理	ユース会計社	年 518,400 円 月 43,200 円 ×12
		(株)弥生会計	年 48,816 円 ×1
14	複写機リース	リコーリース	年 119,232 円 月 9,936 円 ×12
15	ホームページ管理	(有)オフィスウェブラン	年 282,297 円 年契約
16	AED保守	総合警備保障 次期交換 2020年2月	パットカートリッジ 77,760 円、動産保険料 2,220 円、 バッテリー7年交換 218,890 円
17	シュレッダー	日立キャピタル	年 8,164 円 リース満了更新
18	貯水槽	広誠設備工業(株) *5年毎	1年当 13,300 円 水質検査 14,040 円貯水槽清掃 52,164 円
19	空調清掃・点検	旭電業(株)	年 151,200 円 年2回(3年に1回の700ガ点検含む)
20	特定建築物 定期点検	大和設計(株)	建築物 3年に1回 年 162,000 円
		ユージー防災設備	建築設備 1年に1回 年 162,000 円
			防火設備 1年に1回 年 64,800 円
21	機械警備	星光ビル管理 にしけい	年 842,400 円 月 70,200 円

(3) その他の建物の保守関係では、1階トイレ下ピットの漏水は毎月の点検とポンプにて汲み出しで対応しています。立体駐車場では、日成ビルド工業(株)に年1回の通常点検(無料)を継続し、保全対応をしています。

(4) 火災の未然防止と万一の災害に備えるため、防火対策委員会を4月18日と11月6日に開催し、入居団体避難訓練を7月4日に地域との合同避難訓練を11月15日に実施しました。また専門業者による消防設備点検を9月7日と3月1日に実施しました。

(5) 個人情報保護については、個人情報保護基本規程に基づき適正な取扱いに努めています。また会員管理は厚生情報センターにて適正に行っています。

(6) 「教育会館ニュース」を7月、1月に発行し、またホームページの活用を図り、会館の事業及び復興支援への対応等の広報、情報の開示と発信に努めました。

### 3 保険共済事業について

#### (1) 会館共済Ⅰ型『生活保障』『介護保障』『医療プラン』

34次を迎えた会館共済の加入促進は、昨年に引き続き熊本地震復興支援キャンペーンとして5～6月に実施しました。34次は『生活保障』掛金の改定（値下げ）やIコース（4500万円）・Hコース（4000万円）等の新設も行い、341名の方が増額されました。9月1日時点での『生活保障』の本人新規加入者は223名でしたが、加入者総数は脱退等もあり前年より307名減の9,656名となりました。『介護保障』は、新規加入者は347名で、前年より178名増の3,914名となりました。『医療プラン』は、新規加入者は145名で、前年より217名減の4,511名となりました。なお熊本城復興のために、206,000円（20円×会館共済総加入者数）を寄附しました。

平成29共済年度（平成29年9月1日～平成30年8月31日）を含む過去5年間の遺族生活給付（死亡・高度障害）、介護、入院給付金の状況、また会館独自の特別給付金の給付状況の対前年比較は下記の通りです。 決算報告書 P12・13・14

#### 《死亡・高度障害、介護、入院給付金 平成25～29共済年度の推移》

平成	キャンペーン 年次	死亡・高度障害 給付		介護 給付		入院 給付	
		件数(件)	給付額 (円)	件数(件)	給付額 (円)	件数(件)	給付額 (円)
25年度	29次	11	145,000,000	0	0	172	13,467,000
26年度	30次	12	178,000,000	0	0	156	9,851,000
27年度	31次	7	48,000,000	1	5,000,000	162	11,007,000
28年度	32次	6	92,000,000	0	0	154	10,293,000
29年度	33次	11	140,000,000	0	0	163	13,936,000

※過去最高額 23年度（27次）：死亡・高度障害206,000,000円、入院17,297,000円

#### 《特別給付金の給付状況 平成30年4月1日～平成31年3月31日》

		内 容	給付件数	前 年
1	入院見舞金	5日以上	227件	207件
		30日以上	23件	19件
		60日以上	18件	13件
2	医療プラン・初期入院（1日～4日）		187件	196件
3	休職見舞金		14件	9件
4	誕生祝金		116件	107件
5	退職祝金		179件	150件
6	満期祝品		72件	55件
給付 総件数			836件	756件
		給付 総額	12,631,000円	11,387,000円

#### (2) 会館共済Ⅱ型『年金』（貯蓄型生涯保障共済）

新規加入者は11名、退職等による減で総数は641名（前年度678名）になりました。

#### (3) 傷害プラン

新規加入者は1名で、加入者総数は102名（前年度108名）となりました。

#### (4) 会館共済特別給付金の申請に対しては、給付の適正・迅速化を図るために、給付審査委員会を毎月2回開催し、半月毎に審査・給付の体制をとっています。

(5) 共済事業の制度や運営のあり方については、制度検討委員会で検討を行いました。第35次より『充実介護プラン』の導入を行います。